



■インフォメーション

何かトラブルが生じた場合には、サブグラウンド内のインフォメーションまでお越しください。

■走行

ナンバーカードが見える服装で参加してください。
コース上は、交通規制が行われておりますが、コースの一部分で車と対面、並走します。また、大会車両が並走する場合がありますので十分ご注意ください。

■距離標示

フルマラソンと10マイルのコース上には、1キロごとのキロ標示看板をボランティアが掲示しています。また、おおよそのキロ標示をコース上にある電柱看板に掲示しています。

■給水所とトイレ

コース上の下記地点に給水所を設けます。5キロ給水所は大変混雑いたしますが、7.5キロ付近には協賛社による全長約300メートルにも及びエイドステーションがございますので、慌てず安全な走行を心掛けてください。

また、大会オフィシャルエイドのほかにもフルマラソン25キロ付近には、かすみがうらマラソン名物の私設エイドが立ち並びます。軒先におにぎりや佃煮などが並び思い思いのおもてなしでランナーの皆さんを出迎えます。トイレは各給水所に設置してあります。
*合計18箇所。40km給水所は10マイル14km給水所兼用です。各給水所の設置箇所はおおよそのキロポイントとなりますので、正確なキロ標示ポイントとは異なります。

<給水所・トイレ設置場所>

| | |
|--------|---|
| フルマラソン | 5kmポイント、7.5kmポイント、10kmポイント、15kmポイント、17.5kmポイント、20kmポイント、22.5kmポイント、25kmポイント、27.5kmポイント、30kmポイント、32.5kmポイント、35kmポイント、37.5kmポイント、40kmポイント、ゴール |
| 10マイル | 5kmポイント、11kmポイント、14kmポイント、ゴール |
| 5キロ | ゴールのみ |

■救護について

コース内には、ドクターランナーをはじめ、十字マークのナンバーカードが目印の救護ボランティアランナー(フル・10マイル)が300名走行します。

また、2.5キロごとにAED隊が待機するほか、20台のAED自転車隊が走行しています。

その他、救護車・救護所など、万全を期した救護体制で実施します。



レース中は

■ランニングペースアドバイザー

フルマラソンには、4時間ペース・4時間30分ペース・5時間ペースのランニングペースアドバイザーが走ります。風船が目印ですので完走時間の目安にしてください。

*ペースアドバイザーはあくまでもペースの目安であり、正確な設定タイムでフィニッシュするものではありません。

■緊急車両通行等へのご協力をお願い

大会中、事故や火災など緊急事態が発生した場合、コース上を緊急車両が通行することがあります。その場合は、コース上の係員の指示に従って緊急車両の通行を優先してください。

ランナーの走行状況等によっては、車両や歩行者を横断させることがあります。

フィニッシュ後は

■フィニッシュ後の流れ



<参加賞について>

申し込み時に伺いましたご希望の商品の種類、サイズがナンバーカードに印字されていますので、参加賞交付所にてお受取りください。

*地元名産品の引換えは当日のみとし、後日請求の場合は、ランニングキャップとなります。

<ラップタイム入り記録証>

記録証をゴール後すぐに発行いたします。フルマラソンでは5キロごとと中間点でのラップタイムが入ります。

<表彰について>

一般の部・盲人の部、各種目別総合3位までメインステージにおいて表彰を行います。

年齢別各部門10位(盲人の部は6位)までに入賞された方は、インフォメーションにて賞状等をお渡しいたします。

～マナーアップ3カ条～

かすみがうらマラソンは参加者マナー日本一を目指し、マナーアップ3カ条を掲げています。皆様のご協力をお願いします。

その1. ごみのポイ捨てはしません!!

大会1週間前には地元のボランティアにより、綺麗なコースを走っていただくとう「ランロードクリーン作戦」を展開しています。

コース上はもちろんのこと、会場内や周辺・駐車場などごみは持ち帰るか指定のごみ箱へ捨てるようにご協力をお願いします。

その2. ルールを守って整列します!!

かすみがうらマラソンは、スムーズなスタートができるように申告タイム順でブロック分けしています。ナンバーカードに記載されたアルファベットブロックに必ず整列し、皆さんが気持ちよくスムーズにスタートできるようご協力ください。

その3. ランナーとしてのルールを守ります!!

一部の男性ランナーによる会場周辺やコース上での立小便など、心ない行動に心を痛み迷惑している方々がいます。会場やコース上には仮設トイレが設置されていますので、節度ある行動をとりましょう。

また、携帯電話等の使用により、急に立ち止まるなど危険な行為が報告されています。コースの側道に避けるなど責任ある行動をとりましょう!